

岸和田健老大学歴史探訪

『古代のロマンを求めての旅』

令和5年5月11日(木) 檜本多加三講師の解説付き



今回の歴史探訪は、歴史の専門講座でもお馴染みの檜本多加三先生と一緒に健老生49名、奈良県明日香村にある、牽牛子塚古墳・越塚御門古墳・岩屋山古墳・高松塚壁画館・高松塚古墳・四神の館・キトラ古墳を先生の楽しい解説を聞きながら、緑爽やかな林の中を古代のロマンを求めて歩きました。お天気も良く、とても充実した、楽しい一日となりました。

道の駅 飛鳥

バスから降り、古墳まで先生の解説を聞きながら休憩して、全員ゴールしました。

けんごしづか こしつかごもん
牽牛子塚古墳・越塚御門古墳





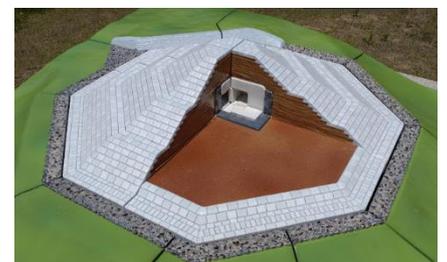
越塚御門古墳

牽牛子塚古墳

石槨



展望広場



模型

牽牛子塚古墳は、史上初めて2度天皇となった35代皇極・37代斉明女帝が娘の間人皇女と眠るお墓です。八角墳で、墳丘斜面には、二上山産の凝灰岩切石が施されている。越塚御門古墳は、孫娘である大田皇女の墓と考えられています。檜本先生の、どろどろの人間関係のお話と、母の娘を思うお話を楽しく聞かせて頂きました。



岩屋山古墳

古墳時代終期末の古墳で昭和 43 年に国の史跡に指定された。石室が開口していて自由に古墳の内部に出入りでき、貴重な体験が出来ました。（文部省の指定になってました。）



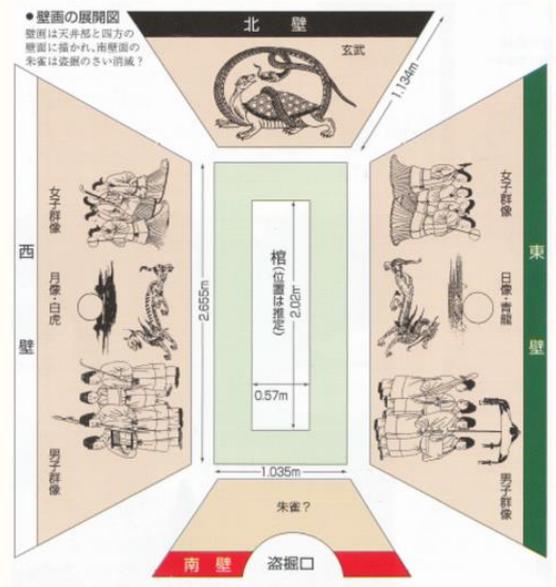
高松塚壁画館

高松塚壁画は昭和 47 年 3 月発見された。国宝に指定され保存上、公開されないため、壁画館を建設し、石槨内部の模型と壁画の忠実な模写・構造を展示。





高松塚古墳の壁画のイメージ図です。



館内では急ぎよ、ガイドさんに説明して頂き、皆さんが真剣に聞いていたので、物凄く詳しく説明して頂きました。大変勉強になりました。



しじん キトラ古墳・四神の館

2段に造られた円墳で7世紀末～8世紀初期頃に造られたと考えられる。18個の凝灰岩の切石を組み上げた石室。昭和58年極彩色の壁画が発見され、注目された。古墳は平成12年特別史跡に指定された。しかし、誰のお墓かは解っていない。





石室模型



キトラ古墳

昼食・お土産



葛の本場 天極堂さんで吉野本葛を使用した料理と、賞味期限が10分の「葛もち」を頂きました。一階では、葛のお土産をゲットしました。



檜本先生ありがとうございました。お疲れ様でした。岸和田観光バスの中でも道中ガイドして頂き、歩いている時もず〜と説明して頂き、笑いの絶えない時間でした。今日は皆さん良く歩きましたね。10,000歩達成です。実物を見ながら解説して頂くのは、大変良く理解できました。一番印象に残ったのは、実際古墳の中に入った岩屋山古墳でした。次回の歴史探訪も楽しみです。